

～目次～

【1】TKK活動

【2】加盟団体の活動

【3】行政、他団体の活動

【4】新コーナー「行ってきました、聞いてきました！」

— 各記事の前の ●は活動報告、○は今後の予定 表題の< >はシリーズ開催です —

【1】TKK活動

* * *

●TKK 発足 15 周年、NPO 法人設立10周年 記念講演会 8月27日(日)午後 浜離宮朝日ホール

当日は、TKK 加盟団体の会員及び支援者をはじめ、今までTKKの活動を支援・協賛いただいた行政、専門家・支援者、そして企業や財団等の支援団体、また一般の方々、合わせて400名の方に参加頂き、盛会裏に無事終了いたしました。

==== TKKが発足して15周年、そしてNPO法人設立から10周年の記念講演会を、盛会にて開催できました。東京都より来賓として小池都知事にご臨席頂き、御祝辞と共に、高次脳機能障害について温かい、しかも力強い励ましのお言葉を頂戴いたしましたこと、大変有り難く思いました。この日を迎えられたことは、賛同して加盟している団体はじめ、会員の皆さま、そして今までの活動を積極的に支援してくださいました関係者の皆さまや、法人や支援団体の皆さまのお蔭様によるものと、心より、深く感謝申し上げます。これを機に今後の活動を一層充実するよう心がけてまいりますので、皆様、引き続きご支援頂きますようお願い申し上げます。また、この記念講演会の際に、高次脳機能障害支援制度の恒久化のために高次脳機能障害者支援法の制定を目指す「周年記念アピール」を致しましたところ、満場一致で採択されたことをご報告申し上げます。なお、記念講演会(<http://bit.ly/2xIOYPi>)での開会挨拶(細見理事長・小池都知事)、TKK 団体紹介の詳細ビデオ、及び周年記念アピールを、近々、TKK ホームページ(<http://www.brain-tkk.com/>)に掲載予定です。

==== TKK 理事長 細見みゑ

<高次脳機能障害 実践的アプローチ講習会>

2017年度は第1回目5月14日と第2回目11月26日の2回開催。2回分一括先行申し込みは終了しました。第2回目の11月26日の受講をご希望の方は <tkkapproach@gmail.com> にお申込みください。詳細、お申し込みはこちらから。

http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=175

<医療及び家族相談会>

ご相談は各回とも先着順で1回に3組まで、1組につき1時間を目途として順次、ご相談に応じます。今年度は、4回目が10月15日、あとは12月10日、1月28日、2月18日、3月18日に開催します。詳細やお申し込みは、こちらから。

http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardCode=FB20_1198201667&boardAct=view&crtPage=1&readNum=177&replyNo=141

【2】加盟団体の活動

* *

●「杜のマルシェ♪」 主催：杜のハーモニー♪ 9月1日(金)～3日(日) 深大寺曼珠苑ギャラリー

==== 最終日の9/3(日)に、調布の深大寺散策を兼ねて、当事者の息子と参加させて頂きました。当事者とそのご家族・一般の皆様の手作り市とのフレコミでしたが、とんでもない。プロ級、いや真にプロの作品ばかりで本当に驚かされてしまいました。思わず沢山のお買い物が出来、長居してしまいました。理解ある優しい支援者の方々に囲まれておられる杜のハーモニー♪さんのご活動の一端を伺わせて頂き、貴重な1日でした。==== TTK 理事長 細見みゑ

●杉並高次脳機能障害家族会「クローバー」5周年記念講演会 「高次脳機能障害～ご家族の向き合い方、当事者の受け止め方～」 主催：杉並高次脳機能障害家族会「クローバー」 9/16(土)13:30～16:30 荻窪タウンセブン8階第1集会室 講師：渡邊 修先生

====代表：山田麻有美さんの開会挨拶から始まりました。「クローバー」の歩みのプレゼンテーションでは、当初10家族から発足したけれど、今や会員は50家族となり、共にイベントを開催し、情報交換し、支え合い励ましあいながら、活発に活動を続けておられるとのこと等々、及び杉並区の家族会への助成金や、支援者、関係者の方々のお力添えに非常に感謝しておられました。僭越ながらお祝いに駆けつけた私も、ご挨拶に立たせて頂き、5周年記念の御祝辞を述べさせて頂くと共にTTKに加盟して大変にご協力いただいていること、先日8/27記念講演会でのご協力などに対して心からの感謝の思いを述べさせて頂きました。渡邊 修先生のご講演では、行政(国と東京)と、全国の家族会や支援団体、東京のTTKの歩みとを比較対照しながらの高次脳機能障害者支援の歩みについてや、本題の家族や支援者の具体的な支え方や配慮についての数々のhow-to等、いつもながら分かり易くご講演頂きました。==== TTK 理事長 細見みゑ

○第3回ハイリハジュニアOB会 主催：ハイリハジュニア 11月3日(祝)13時～17時 篠崎コミュニティーホール

①就労している高次脳若者の体験談 ②大塚恵美子先生(千葉リハビリテーションセンター高次脳機能障害支援コーディネーター)による講演 ③親と当事者に分かれての話し合い

参加費：500円/人、ご家族でご参加ください。当事者だけ、ご家族だけでもOKです。

就労支援機関の方も参加しますので、たくさん質問を用意してきて下さい。

◇申し込み：ハイリハジュニア穴澤・ハイリハ東京小澤まで

篠崎コミュニティーホール 都営新宿線「篠崎駅」徒歩1分、アクセスは下記を参照ください。

http://www.city.edogawa.tokyo.jp/shisetsuguide/bunya/bunkachiiki/c_shinozaki_hall/guide.html

○「お話し伺います!!!」日頃のお困りごと、愚痴でもなんでも、お気軽に。主催：高次脳機能障害者と家族の会 10月15日(日)14:00～16:00 あんさんぶる荻窪 4階第2教室(杉並区荻窪5-15-13)」

詳しくは：<http://kouji-kazokukai.org/bbs/20170914/595.html>

○第7回 失語症カフェ ワックル 主催：言語生活サポートセンター 10月15日(日)13時30分～15時30分 「言語生活サポートセンター」訓練室、杉並区荻窪5-16-14 カパラビル 1階

“メニュー“ 心を込めて入れる, 点てる ハンドドリップコーヒー・抹茶、お茶菓子&笑顔。【参加料】 500 円。

失語症のある方、ご家族の方、失語症に関心のある方、是非お出で下さい。

定員 30 名、会場は 1 階なので車いすでも OK です。

◇申し込み:失語症協議会 03-5335-9756 【当日連絡先】(株)言語生活サポートセンター 03-6915-1877

○東京臨海広域防災公園に行きましょう！ 主催:高次脳機能障害者と家族の会 11月12日(日)11:15~15時頃

集合場所:東京臨海広域防災公園(江東区有明3-8-35)「そなエリア東京」入口に11:15に集合

・ゆりかもめ 有明駅 徒歩2分 ・りんかい線 国際展示場駅 徒歩4分

持ち物 :お弁当、敷物 (入場は無料です)

* お弁当持参が面倒な方は、デパ地下のお弁当(1000円位)を用意しますので申し込みの時にお知らせください。

◇申し込み: 参加者氏名、連絡先を添えて、11月5日までに次までお願いします。

FAX(03-3200-8970)、メール(koujinou_kazokukai@yahoo.co.jp)

問い合わせ・当日連絡先:090-8036-8606(太田)、090-9204-2521(松枝)

○いちごえ会主催イベント

1)いちごえカフェ(当事者が企画・実行) 11月12日(日)14:00~17:00 前原暫定会場 1F学習室、会費:500円

初の試みで気軽に当事者が集まっておしゃべりする会です。内容はレジリエンス代表 蟹江こうじさまをお迎えします。

2)茶和会 11月23日(祝)13:30~17:00ごろ 増村マンション集会室

小金井市本町 2-20-9 ハイホーム武蔵小金井、会費:無料

主に介護する家族のおしゃべり会です。最近では当事者の参加もあり、悩みを打ち明けその解決法を話す相談会に自然になり、助け合い精神が強くなりました。

3) 交流会 クリスマスフェスタ 12月10日(日)13:30~17:00 前原暫定会場 1F学習室、会費:無料

当事者主導の交流会で自己紹介・近況発表後クリスマスのゲームなどで楽しく仲間の絆を強めます。

○高次脳機能障害者の就労に向けて PARTⅢ 主催:NPO 法人 VIVID(ヴィヴィ)

11月18日(土)13時~16時、新宿区四谷地域センター 12階多目的ホール

昨年11月、本年7月のセミナーに続く第3弾。今回は、はじめに就労支援におけるジョブコーチの役割や制度について情報を共有し、第2部では、実際にジョブコーチの支援を受けた家族・当事者から報告をうけ、意見交換をいたします。

第1部 講演「就労支援におけるジョブコーチの役割」講師:西村周治氏

(世田谷区立障害者就労支援センターすきっぷ所長)

第2部 報告「ジョブコーチの支援を受けて~家族・当事者から」報告者:太田三枝子氏(家族)

問い合わせ:03-6380-2015 【当日連絡先】080-4667-4831

◇お申し込みは、こちらから。

http://www.vivid.or.jp/index.php?option=com_content&task=view&id=36&Itemid=46

○高次脳機能障害と囲碁&心の唄コンサート 主催:フォーラム大田高次脳 1月7日(日)11時~16時 大田文化の森ホール、プレイベント 囲碁対局(品川区立総合区民会館きゅりあん1階 ホワイエにて)

1部 当事者との座談会 2部 心の唄コンサート(木谷正道さんと心の唄バンド 当事者家族の合唱団)

◇連絡先: 栗城 Email:kurishiro@live.jp

○みなと高次脳主催・定例会

1)外出支援訓練(第4回定例会) 10月14日(土)貸切バスで山梨県まで。

「シャトー勝沼～浅間園」を巡り、ワイン工場見学と巨峰狩り後、バーベキューとほうとううどんの昼食。遠出なので、トイレ休憩の回数は大丈夫か、見学中の階段はどうかなど、体のことに配慮が必要です。

無事行って帰って来られるよう、準備を念入りとする予定。

2)年末ランチ交流会(第5回定例会) 12月9日(土) 場所は未定

どちらも、日常生活を忘れ仕事を忘れ、リハビリの日々から離れ、いつきの気分転換を味わってほしいという企画です。

○メビウスのWA 発足15周年祝う会 主催:メビウスのWA 11月18日(土)12時～15時

立川市若葉町カフェ・レストラン「てたく」ランチ会 当事者・家族、ボランティアで美味しい食事・ゲームを楽しみながら15年を振り返ります。

○第33回ドリームサロン～高次脳機能障害を知ろう 語ろう もっと身近に！～ 主催:調布ドリーム

11月23日(祝)13時～16時半 高次脳機能障がい者活動センター調布ドリーム(京王飛田給下車1分)

1部 講演「事例に学ぶ高次脳機能障害のある方への支援」～病歴や画像、心理検査の実例から～

講師:渡邊 修氏(慈恵医大第三病院 リハビリテーション科教授) 2部 当事者と共に語り合おう

【3】行政、他団体の活動

* *

●東京都総合高次脳機能障害研究会主催 第3回研究会 8/5(土)～8/6(日) 首都大学東京 荒川キャンパス 大講堂 「高次脳機能障害の基礎と応用、医療から地域へ」

==== ①1日目の8/5(土)は、高次脳機能障害のある方への運転再開支援(渡邊 修氏)、高次脳機能障害者の力を引き出すリハビリテーション・カウンセリング(大嶋伸雄氏)、学童期の高次脳機能障害への対応(坂爪一幸氏)、高次脳機能障害のある方へのハローワークの現状(野坂きみ子氏)、その人らしい暮らしを支えるチームアプローチ(斉藤健一氏)、垂直性 verticality の評価と治療アプローチ(網本 和氏)の6部門。非常に専門性の高い内容での講演。②2日目の8/6(日)は、社会的行動障害への対応(西脇恵子氏)、訪問看護の経験を通して地域のリハビリに望むこと(加藤公恵氏)、社会性に問題のある症例と復職支援を要する症例の事例検討(渡邊 修氏・西脇恵子氏)の3部門の講演でした。看護師である加藤公恵氏の看取り支援の講演の中で、「人生の最初と最後は人の手を借りなければならないことがある。当事者が生きてきて良かった、家で幸せな時間が過ごせたと思って貰い、当事者の希望を実現してあげると言う、諦めない介護を大切にしている。」の意味深い言葉が心に残りました。==== TKK 理事長 細見みゑ

●財務省から自賠責運用益約 6,200 億円を繰戻しさせる会議 9月4日(月) 虎ノ門

==== 自賠責運用益に関する会議には、全国の交通事故被害者家族団体と有識者、支援機関・法人、国土交通省、ナスバが出席。交通事故被害者とその家族もTKKを構成しているので、招聘に応じて参加。今回は、本格的な繰戻しへ向けた会議で、繰戻しへの要望書案について、具体的な意見交換をした。==== TKK 理事長 細見みゑ

●高次脳機能障害講演会—退院後、状況に合わせて考えておくべきこと 主催:朝日新聞厚生文化事業団、後援:日本脳外傷友の会・東京高次脳機能障害協議会(TKK) 10月1日(日) 浜離宮朝日ホール

- ・基調講演「高次脳機能障害を改善するための認知リハビリテーション」岡村陽子・専修大学人間科学部心理学科教授
- ・「その時、家族は・・・」 橋本圭司さん(はしもとクリニック経堂院長) Aさん(高次脳機能障害当事者)と家族
- ・シンポジウム「退院後、状況に合わせて考えておくべきこと」

橋本 圭司さん(コーディネーター)

本多 留美さん(NPO 法人高次脳機能障害サポートネットひろしま・言語聴覚士)

瀧澤 学さん(神奈川リハビリテーション支援センター 地域支援室)

山河 正裕さん(社会福祉法人豊中きらら福祉会 工房「羅針盤」・施設長)

岡村 陽子さん(オブザーバー)

====基調講演で、岡村陽子・専修大学人間科学部心理学科教授は、認知リハをリードしてきた、英米の研究所の理念、実践について紹介。さらには、勤務先の「心理教育相談室」での経験を通し、「自分にあった認知リハを継続すること」、「当事者も家族も心のケアを忘れずに」と話された。

つづいて、「その時、家族は」。英国の名門大学の大学院で学んでいたAさんは、2008年7月、暴漢に襲われ、意識不明の重症を負った。意識回復後、急性期リハビリを受け帰国。慈恵大、神奈川リハを経て、出身地の福島で通院リハを受けた。現在、都内で寮生活をしながら、能力開発校へ通っている。Aさんは「仕事をして人の役にたてるようになりたい」と語り、母親は「遅くなったが、子離れをして自分の人生を」と語った。「シンポジウム」では、専門職の方々がそれぞれの実践を通して感じられたこと、貴重なアドバイスが語られた。

==== TKK 理事 田辺和子

○第15回 はばたけ！！サンサンゆめまつり 主催:国分寺障害者センター 10月15日(日)10:30~14:30

国分寺市障害者センター(国分町市泉町2-3-8) 駐車場テント(雨天時決行、駐車場不可)

—メビウスのWAは、模擬店に出店 内容:①当事者と家族、ボランティアによる高次脳機能障害の啓発活動
②手作り小物販売 ③ヘルプマーク普及活動 ④障害の相談コーナーなど

○港区講演会 主催:港区、事業受託:TKK、協力:みなと高次脳 10月22日(日)午後1時30分~4時30分

港区立男女平等参画センター1階リーブラホール 港区芝浦1-16-11 みなとパーク芝浦、

講演1「高次脳機能障害の方への地域支援」～家族会を取り巻く支援システムについて～

講師:納谷敦夫(なやクリニック院長/神経精神科医)氏

*グループホーム設立と運営、成年後見利用についてのご見解なども、本音で語って頂きます。

講演2「高次脳機能障害へのリハビリテーション」～グループ訓練を中心に～

講師:石川 篤氏(慈恵医大本院リハビリテーション科/作業療法士)

詳しくは、下記を参照ください。

http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=181

○脳の働きを知ってケアに生かそう 主催:墨田区社会福祉事業団・隅田区 協力:高次脳機能障害すみだ患者・家族の会

10月28日(土)13:30~15:30 墨田区役所 13F 131会議室 対象:どなたでも。定員:100人

講演講師:中島 恵子氏(帝京平成大学大学院臨床心理学教授(PS))

◇ 申込先:すみだ福祉保健センター TEL:03-5608-3712 FAX:03-5608-3730

○都主催 29年度 第2回高次脳機能障害者相談支援研修会

社会的行動障害を学ぶ—施策の動向、サービス事業所の取組から— 主催:東京都心身障害者福祉センター
10月31日(火)13:10~16:45 東京都社会福祉保健医療研修センター 講堂(文京区小日向 4-1-6)

第1部 講演「高次脳機能障害に関する国の施策の動向—社会的行動障害を中心に—」

講師:国リハ 高次脳機能障害情報・支援センター長 医師 深津玲子氏

第2部 実践報告「国立障害者リハビリテーションセンター 生活訓練課題における社会的行動障害への支援の取組」

講師:国リハ 自立支援局生活訓練課 作業療法士 安部 恵理子氏

定員:300名 締切り:10月10日 研修会案内および申し込みは、次を参照ください。

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shinsho/kojino/seminar.html>

○高次脳機能障害 お話し&相談会 主催:大田区障害者サポートセンター 11月12日(日)13時30分~15時30分

大田区障害者サポートセンター (さぽーとぴあ)

・お話し「高次脳機能障害と共に暮らすヒント」 酒井弘美氏(東京工科大学 作業療法学科教授)

・相談会 フォーラム大田高次脳機能障害家族会会員 区内専門職等

○第2回北多摩南部医療圏高次脳機能障害地域支援研修 主催:慈恵医科大学附属第三病院リハビリテーション科

11月19日(日)13時~16時、慈恵医科大学医学部看護学科1階大講堂、対象:専門職および当事者・家族

・講演:「日本脳外傷友の会の歩み、そして、これから」 東川悦子氏(日本脳外傷友の会事務局長・前理事長)

・地域で活動する事業所からの報告

1.「高次脳機能障害者のグループホーム利用東京都での現状と課題」

グループホームミモザハウス世話人/NPO法人ミモザ理事長山本弓彦氏

2.「高次脳機能障害に対する西東京市保谷障害者福祉センターの取り組み」

保谷障害者福祉センター施設長/看護師小川よし子氏

・地域連携事例検討:「高次脳機能障害が明らかとなった膠原病(SLE)事例について」

慈恵医科大学附属第三病院リハビリテーション科長谷川雄紀氏

○会話支援実践付き失語症理解入門講座 主催:失語症協議会 11月24日(金)13時~16時阿佐ヶ谷地域区民センタ

第4・第5集会室(JR阿佐ヶ谷駅徒歩5分)、資料代:500円 参加者:50名 締切り:11月14日

◇予約・問い合わせ:特定非営利活動法人日本失語症協議会 03-5335-9756

○「命の灯ふたたび」—生、脳イキイキと! 失語症講演会 主催:葛飾区

12月3日(日)13時~16時 ウエルピアかつしか 1階 ひがほりめもりあるほーる

講師 横張 琴子氏

◇申し込み 電話 03-5698-1336

○「とってもわかりやすい 私たちの脳の話し ~高次脳機能障害とは~」 共催:調布社協/杜のハーモニー♪

12月23日(日)14時~16時 希望の家深大寺 <http://www.ccsww.or.jp/kibou/jindaiji/>

講師: 渡邊修先生

対象:当事者・家族・一般市民等 どなたでも

◇お申し込み:調布市社会福祉協議会 Tel 042-490-6675 または、伊地山 090-3533-5256

○第2回日本安全運転・医療研究会 主催:日本安全運転・医療研究会 2018年1月21日(日) 日経ホール&カンファレンスルーム

◇問い合わせ:東京都リハビリテーション病院 tokyo.reha.drive@gmail.com

詳しくは、次を参照ください。 <http://www.reha-drive.jp/>

<平成29年度 港区 高次脳機能障害 相談会>

毎月、第3木曜日に開催しています。詳しくは、次を参照ください。

<https://yykoujinou.wixsite.com/lawyer-and-lawyer-jp/2017-minato-soudan>

【4】行ってきました、聞いてきました!

* *

メルマガ編集担当者が加盟団体、関係団体の活動を見学したり、高次脳機能障害関連の催しものに参加した際、その内容、印象をご報告します。今号は、国立市にある就労移行支援事業所 レジリエンスを取材して。

<報告者:TKK 理事 伊地山 敏>

「一般社団法人 クリエイティブ・ソーシャルワーカーズ・ジャパン」 就労移行支援事業所 レジリエンス ～就労を支援、一人一人の特性を生かして～

レジリエンス(※)は、国立駅南口から、徒歩5分ほどのビル(市野沢ビル)3階にありました。

代表者の蟹江(かにえ)こうじさんに、すぐに事業所内へと招き入れて頂きました。開放的な入り口には、利用者と共に作った鉢入りの植物が並び、訪れた人々を癒してくれます。

中では10人ほどの利用者さんが、図書館の自習室にあるような隣の方との間仕切りのあるデスクに向かいパソコン作業をされていました。そのデスクは、利用者達の集中力を高める為に選んだそうです。利用者それぞれは、テーマごとに集中してワードやエクセル等の作業に取り組まれていました。別のテーブルには、プラモデルの組み立て作業に取り組んでいる方もおられました。

緊張をほぐすためのようですが、部屋には緩やかな、うっすらとですが、BGMが流れていました。

他の職員さんとの挨拶の後、蟹江さんと面談をさせて頂きました。

[設立の経緯]

事業所は、平成28年10月1日に発足し、約1年が経過しています。

イラストの仕事をしていた蟹江さんが、10年以上前にB型作業所で絵のインストラクターをしたことがきっかけで、以来福祉の現場に関わってこられ、精神の作業所の職員として、主に高次脳機能障害の方を担当されました。

その後、都身障の卒業生などの就労に関わるなどして、国立市役所の支援をきっかけとして高次脳機能障がい、発達障がい、こころの病気を持つ方を支援する事業所の設立に至りました。

[事業所の現状]

利用登録者は20名以上で、国立、国分寺、三鷹、武蔵野、杉並、練馬など、中央線沿線在住の方が多くいます。就労支援を中心に行いますが、就労支援プログラム、ワークショッププログラム、生活機能プログラム、高次脳機能リハビリなどと各種プログラムが用意され、スタッフ(非常勤含む)7人が、個々人のニーズに合わせ、マンツーマンで対応されています。

[事業所の特色]

高次脳機能障害の方は、それぞれが各人各様であり、回復改善には多角的、シームレスな取り組みが求められますので、お一人おひとりをチームで支える体制を作られているそうです。又、体験実習を重視し、飯田橋の職場体験実習、ハローワークの実習を組み入れられているそうです。

[取材から受けた感想]

高次脳機能障害を中心とした事業所だけに、障害への配慮が随所にみられ、例えば、道順、順路をマップだけでなく、順路を①～④までどう進めばよいか、文字でランドマークを記載した道案内とするなど、とても丁寧な工夫がこらされていました。そして、高次脳機能障害に特化した事業所だけに、私たちと関係の深いTKKファミリーの会員団体の方が利用されていたり、医療関係との連携を重視されているためでしょうか、私たちにはおなじみの渡邊修先生、長谷川幹先生、橋本圭司先生のお名前が頻繁に出てきたことには、とても心強く感じられました。

(※)『レジリエンスとは・・・心理学、精神医学の用語で、精神的な回復力、復元力、抵抗力のこと。人生で思わぬ事故に遭った時に、心や体に大きな負担がかかります。

それぞれの病気や障がいについて理解を深め、自分の弱みを補い、強みや良いところを伸ばしていくことで、レジリエンスを高め、自分らしく働ける仕事をしたり、趣味を楽しめるようになります。』

レジリエンス：〈代表〉蟹江こうじ氏

〒186-0004 東京都国立市中1丁目14-6 042-505-6194

E-mail cswjapon@gmail.com HP:<http://cswjapon.wixsite.com/mysite>

以上